

経営比較分析表

岐阜県 池田町

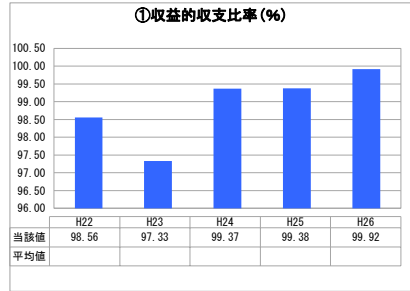
業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)
-	該当数値なし	19.72	88.51

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
24,690	38.80	636.34
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
4,866	4.28	1,136.92

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成26年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



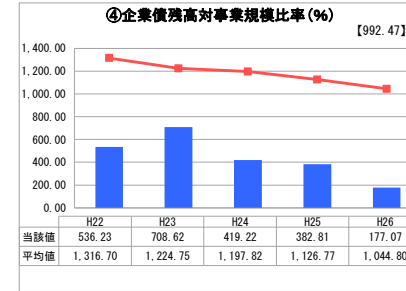
「単年度の収支」



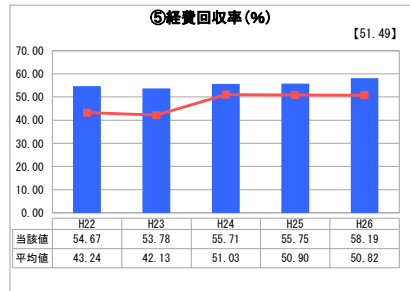
「累積欠損」



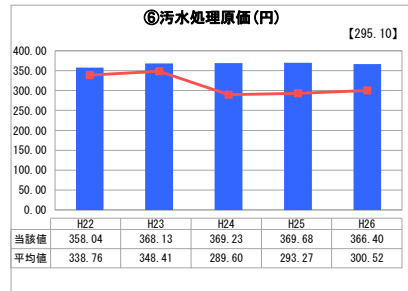
「支払能力」



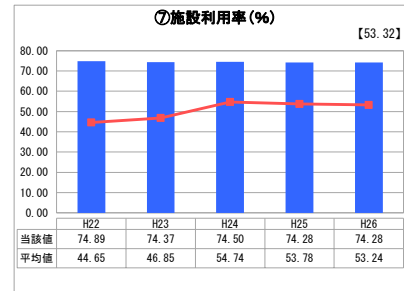
「債務残高」



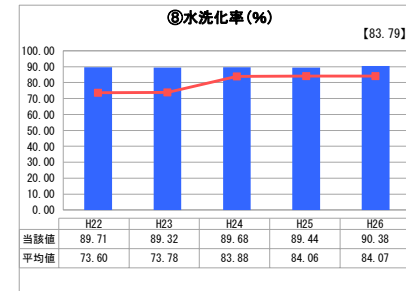
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

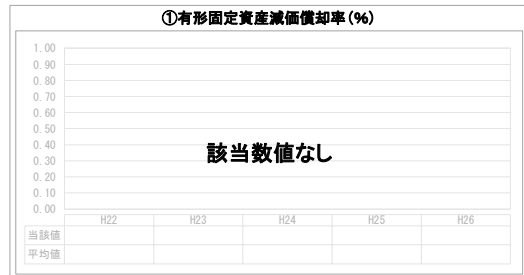


「施設の効率性」

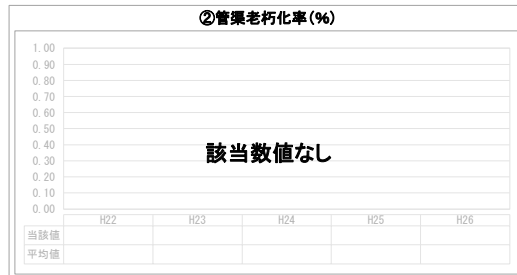


「使用料対象の捕捉」

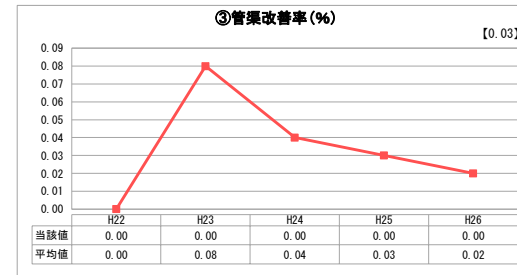
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

全地区が整備済みであり、現在の経営状況をそのまま表している数値となっている。企業債の償還を一般会計からの繰入で賄っている状況である。汚水処理費に関する数値が類似団体平均より高くなっている原因としては、大雨時の不明水流入による施設への流入水増加等による維持管理費の増加が考えられる。今後経営の健全性・効率性を確保するため、管路修繕等により不明水流入を抑えることによる維持管理費の低減に加え、接続率の向上を目指す。

2. 老朽化の状況について

平成9年度から平成14年度にかけて供用開始されており、比較的新しい施設ではあるが、機械設備の更新が増加傾向であったため、平成25年度に最適整備構想を策定済み。施設の状況を勘案しつつ施設の長寿命化を目指す。

全体総括

現在の経営状況から、汚水処理費の低減及び接続率向上による使用料収入の増額を目指すことが目標となる。また最適整備構想による結果等を踏まえ、経営戦略を早期に策定することにより、持続可能な経営体制を目指す。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。